各　　位　　平成 24 年 2 月 3 日

会社名　　クラスターテクノロジー株式会社
代表者名　代表取締役社長　安達　　稔
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号４２４０）
問合せ先　取締役管理本部長　成瀬俊彦
（ＴＥＬ　06－6726－2711）

# 平成 24 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年５月 13 日の決算発表時に公表しました平成 24 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

記

1.平成 24 年 3 月期（平成 23 年４月１日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 901 | 25 | 31 | 25 | 440.80 円 |
| 今回修正予想（B） | 1,003 | 62 | 71 | 68 | 1, 202.91 円 |
| 増減額（B）－（A） | 101 | 37 | 40 | 43 | - |
| 増　減　率　（%） | 11.3% | 149.9% | 131.8% | 172.9% | - |
| （ご参考)前期実績（平成 23 年３月期） | 784 | 25 | 32 | 30 | 544.20 円 |

２．上記業績修正の理由

東日本大震災、タイの大洪水、円高に加えて電力問題等、外部環境は極めて厳しい中で、当社の主力事業であります、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業におきまして、主要顧客のオプトエレクトロニクス業界への展開による機能素子受注の増加、パルスインジェクターの新規受注、マクロ･テクノロジー関連事業は復興需要と新興国インフラ需要と一部の復興需要による碍子の受注増加に支えられて、全体売上は前回発表予想より 11.3%増加する見込みです。

一方、営業利益、経常利益、当期純利益は、表に記載の通り、当初予想と比べて、増加する見込みです。これは、売上増に加え、不良率の低減、生産工程の改善等により、製造原価のコストダウンの継続実施を行い、粗利益率を前年並に維持できる見込みとなったことによるものです。

今後はナノ/マイクロ･テクノロジー関連事業における売上増を図り、マクロ・テクノロジー関連事業では国内復興需要と海外インフラによる受注開拓を進めると同時に、尚一層の生産合理化と販売管理費抑制に努力し、全社一丸となって取り組んでまいります。

（注意事項）

当業績見込みは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績は、今後の様々な要因の変化により、当業績見込みと乖離する可能性があります。　　以上